

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2004年1～3月期)

第32回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

- 1 . 実施概要
- 2 . 調査結果（D I の推移）
- 3 . 概況
- 4 . 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成15年10～12月との比較）
 - （2）前年同期比（平成15年1～3月との比較）
 - （3）来期見通し（平成16年4～6月の見通し）
- 5 . 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
- 6 . 経営上の問題点
- 7 . 今後の対応策
- 8 . 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	213社
回答率	42.6%
(業種別)	
製造業	76社
建設業	42社
卸売業	22社
小売業	37社
サービス業	36社
合計	213社

(2) 実施時期

平成16年1～3月期(平成16年4月に実施)

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高(出荷額・受注額)、採算(経常利益ベース)、資金繰りの状況、仕入れ単価(資材、原材料、商品)、雇用(労働力)状況(含むパート)、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所(宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都)の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

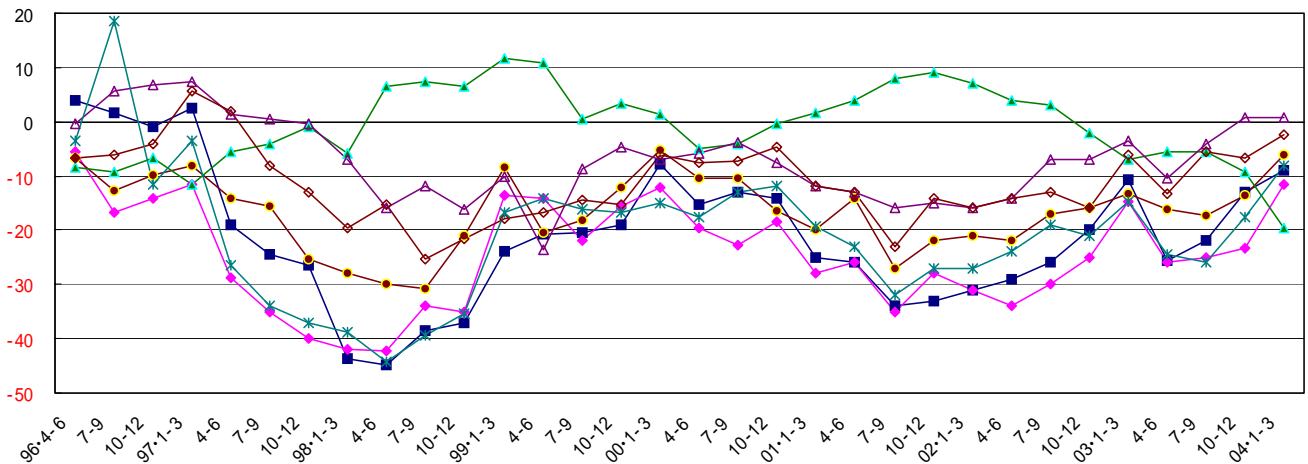
2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

- 売上D I = (増加回答の割合) (減少回答の割合)
 採算D I = (好転 ") (悪化 ")
 資金繰りD I = (好転 ") (悪化 ")
 仕入価格D I = (下落 ") (上昇 ")
 雇用状況D I = (不足 ") (過剰 ")
 設備投資D I = (拡大 ") (減少 ")
 業況D I = (好転 ") (悪化 ")



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	01/7-9	10-12	02/1-3	02/4-6	7-9	10-12	03/1-3	4-6	7-9	10-12	04/1-3
売上	-21.4	-32.6	-30.9	-28.5	-26.2	-20.2	-10.7	-25.6	-22.0	-13.1	-8.9
採算	-25.0	-28.2	-30.5	-33.8	-29.9	-24.8	-14.7	-26.0	-25.0	-23.4	-11.7
資金繰り	-28.6	-21.6	-21.3	-21.5	-17.0	-16.3	-13.3	-16.1	-17.4	-13.5	-6.1
仕入価格	7.1	8.6	7.4	4.3	3.0	-2.3	-7.1	-5.4	-5.5	-9.4	-19.7
雇用状況	-17.9	-15.3	-16.2	-13.6	-7.4	-7.4	-3.6	-10.3	-4.2	0.8	0.9
設備投資	-25.0	-14.0	-16.2	-14.2	-12.5	-16.3	-6.2	-13.2	-5.5	-6.6	-2.3
* 業況	-17.9	-26.9	-27.2	-23.5	-19.2	-21.3	-14.7	-24.4	-14.8	-17.6	-8.0

3 . 概況

「前年よりは少しいいが、あまり変わらない」

(1) 今期の特徴

前期比では、「仕入価格」以外の項目で DI 値が好転した。業種別では、「年度末需要」のあった建設業がプラスに転じ、焼酎・IT 関連が好調な製造業が貢献。小売・サービスが悪化している。

前年同期比においては、「仕入価格」を除く他の項目で DI 値が前回調査より若干の改善をみせた。業種別では、「消費の低迷」、「競争激化」が続いている小売業が依然として停滞しているが、マイナス幅が縮小。「前年よりはいいが、(実質は)あまり変わらない」とものとみられる。「中央の景気は良くなっているが、宮崎はまだまだ」という声が多かった。

一方では、「仕入価格」が上昇(悪化)してきているのが気になる。

(2) 来期の見通し

来期の見通しについては、このところ上昇している「仕入価格」が引き続き悪化している。予算削減、年度始めで工事の少ない建設業が足を引っ張るが、焼酎・IT・情報家電が好調な製造業が貢献し、前回調査より若干の改善をみせた。

(3) 経営上の問題点

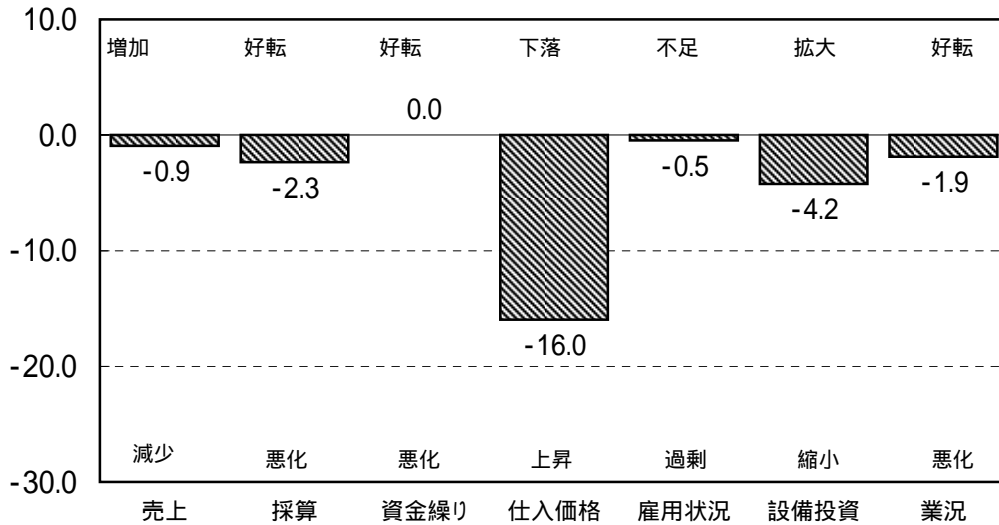
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的 1 位で、2 位が「製品(販売)単価の低下・上昇難」となっており、長引く消費の停滞、デフレからの景気低迷をあらわしている。

(4) 今後の対応策

今回も、1 位が「新規市場を開拓したい」、2 位が「その他合理化を実施したい(製造工程の簡素化など)」、3 位が「人件費を削減したい」となり、上位 3 項目については前回と変動はなかった。

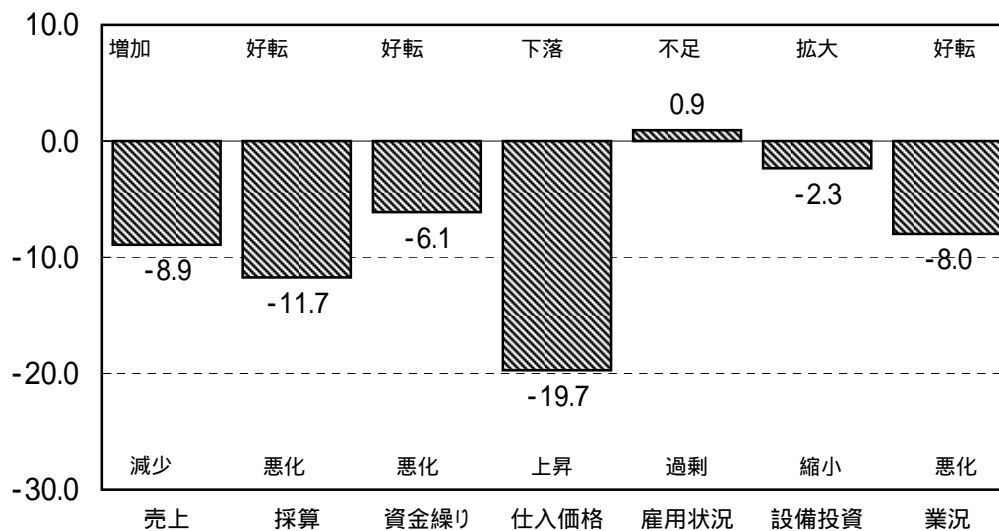
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成15年10～12月比)



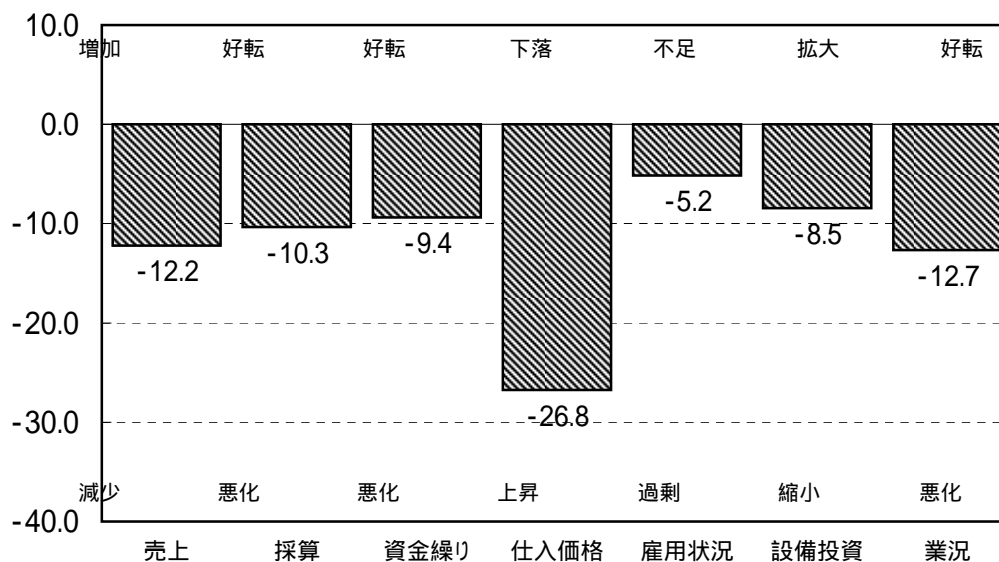
焼酎、IT、情報家電が好調な製造業、年度末需要があった建設業だが、需要低迷・競争激化が続いている小売業・サービス業が大きく足を引っ張り、前期比のDI値は再びマイナスへ転落してしまった。

前年同期比(平成15年1～3月比)



「前年よりは少しいいが、あまり変わらない」建設業、一進一退のサービス業、マイナス値ながらも改善した小売業、好調な製造業により、DI値は依然としてマイナスながらも、前回調査よりは改善がみられた。

来期見通し(平成16年4～6月見通し)

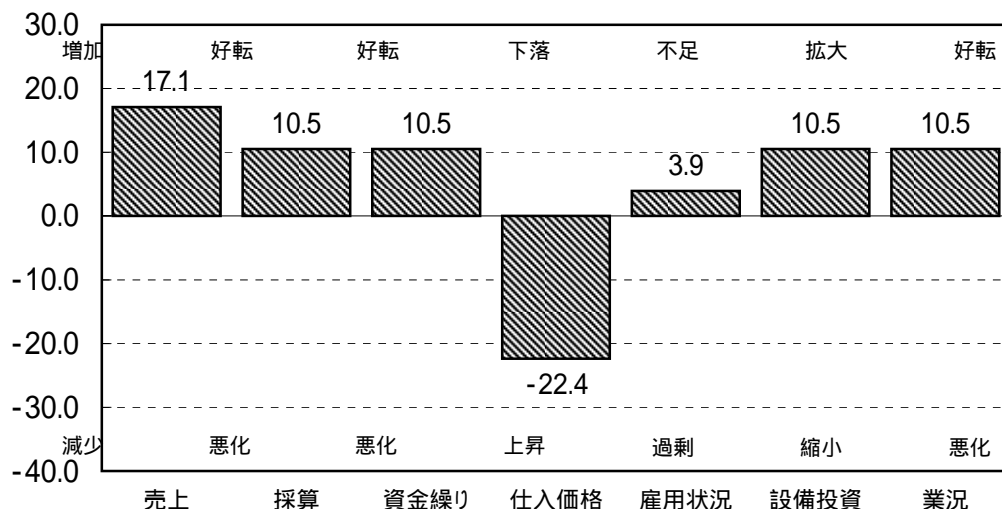


予算削減、年度始めの工事が少ない建設業が足を引っ張る形となったが、新年度に期待をかけている小売・サービス業、そして、焼酎・IT・情報家電が好調な製造業が貢献し、前回調査より若干の改善をみせた。

5. 業種別の景気動向

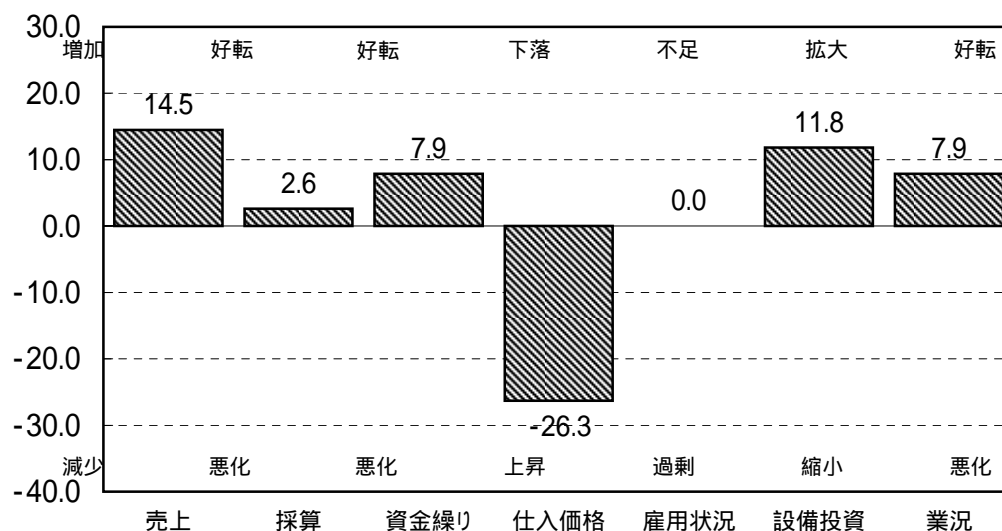
(1) 製造業

前期比(平成15年10～12月比)



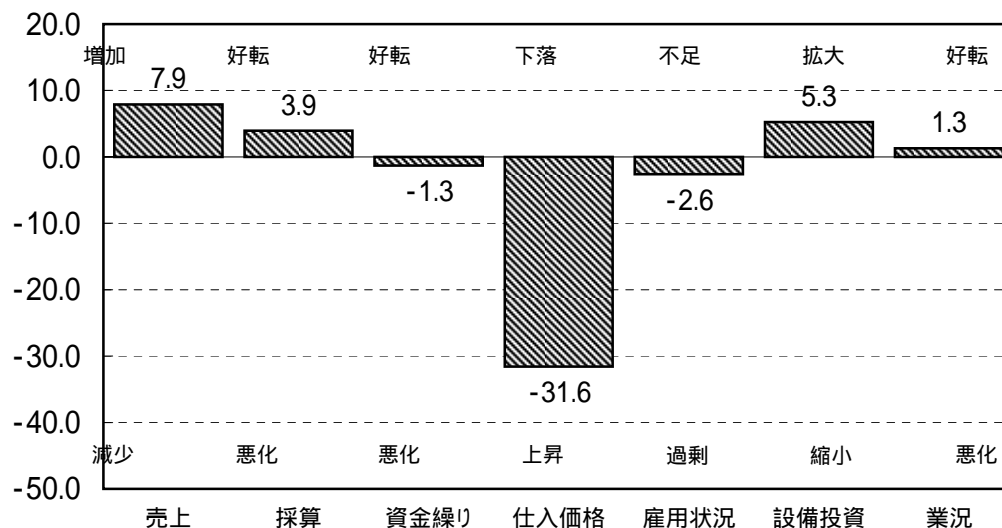
「過去最高の売上」(CAE-ター)、
「景気回復の兆し」(IC)、「東京・福岡での売上増」(印刷)、
「県外での受注増」(鉄鋼)、
「半導体市場の好調」(鋳物)、
「驚異的なブーム」(焼酎)により、
プラスを維持。

前年同期比(平成15年1～3月比)



「受注先の海外シフト」(縫製)、
「大型店の出店で商店街が不振」
(各種印刷)、
デフレによる販売価格のダウン等があったが、IT関連、家電、焼酎の好調により、前回数値より改善している。

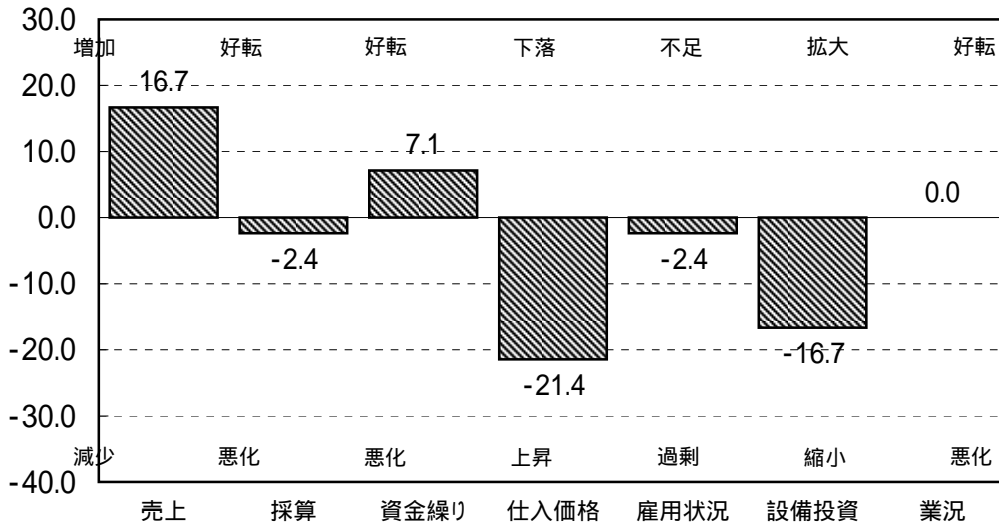
来期見通し(平成16年4～6月見通し)



「公共工事の減少」(木材、コンクリート)、「原材料価格の値上げ」(砂糖、自動車部品)等のマイナス要因もあるが、焼酎・IT・家電の好調で改善をみせた。ただ、「景気が良くなっているのは中央だけ」との声が聞かれる。

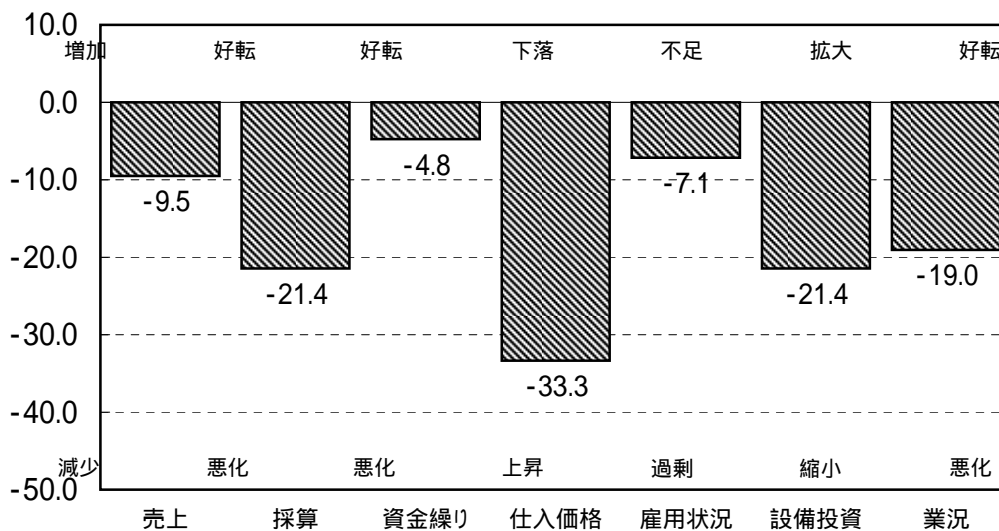
(2) 建設業

前期比(平成15年10～12月比)



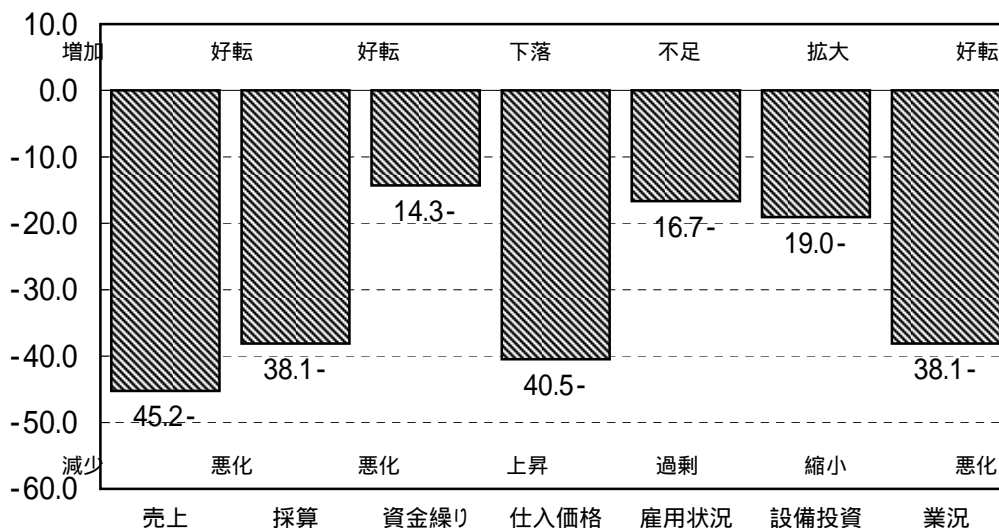
競争の激化に加え、公共工事量全般の発注で厳しい状況は相変わらず。ただ、今期（1～3月期）は、年度末の公共工事関係の最盛期を迎え、DI値は前回調査より大きく改善をみせた。

前年同期比(平成15年1～3月比)



前回DIとほぼ同じ数値。民間設備投資を受注できた企業が一部にはあるものの、公共工事発注減少傾向は変わらず。「前年よりも少しは良いが、あまり変わらない」状況のようである。

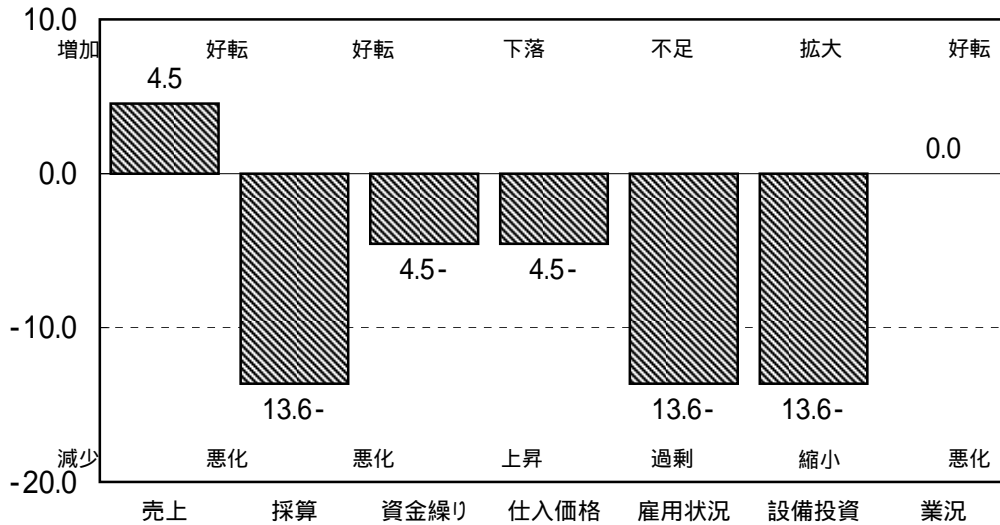
来期見通し(平成16年4～6月見通し)



民間工事受注を見込む企業の一部見受けられるが、来期（4～6月期）は年度始めという季節的要因に加え、公共工事自体の予算が削減されており、厳しい見方をする企業が増えている。

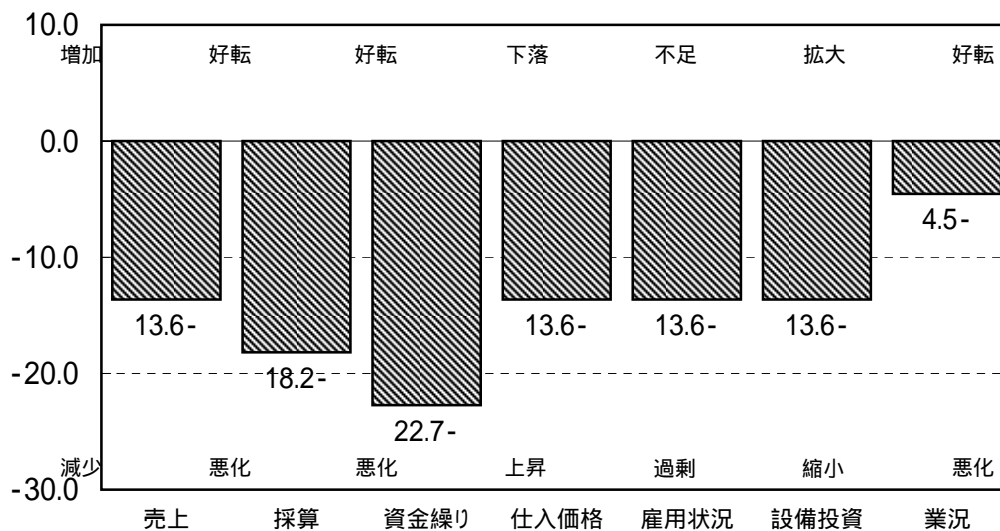
(3) 卸売業

前期比(平成15年10～12月比)



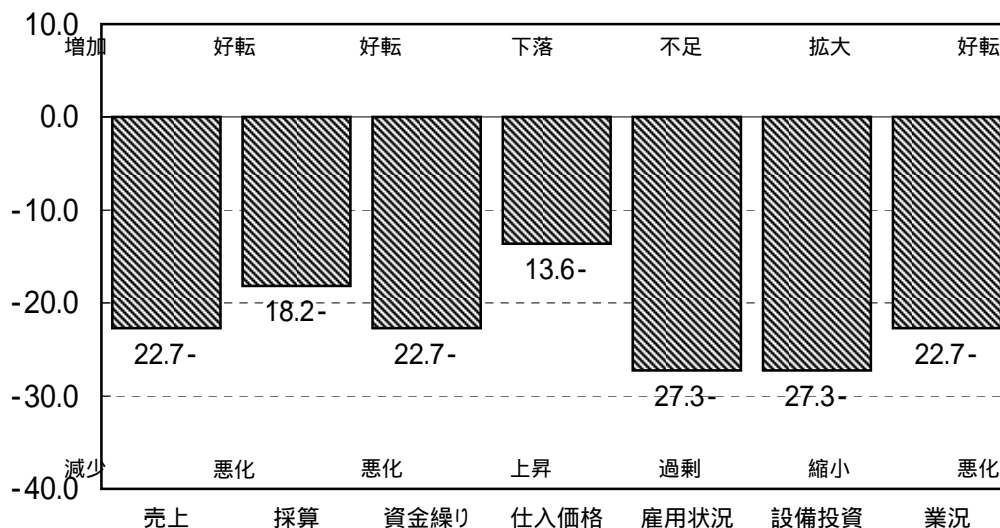
売上のD I値はプラスを示しているが、「景気回復は感じられない」(青果)、「全般的に中小企業に厳しい」(食料品)、「紙一重の状況」(総合包装資材)、年末需要の反動もあり、前回調査より悪化している。

前年同期比(平成15年1～3月比)



「2003年迄の駆け込み需要の反動による着工減」(建築資材)、「単価の下落が続いている」(青果)、「契約単価の低迷」(建築資材)との声が聞かれ、前回調査より悪化している。

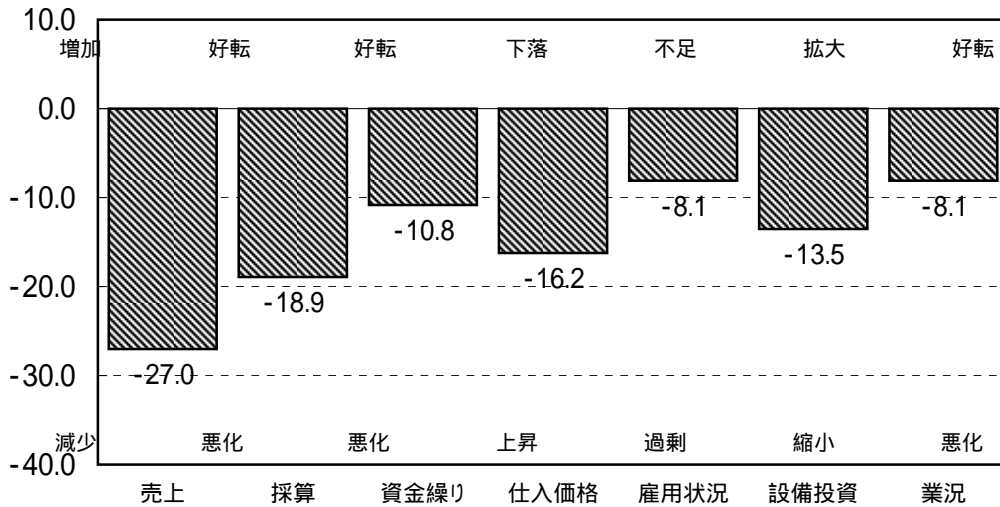
来期見通し(平成16年4～6月見通し)



自助努力の効果を見込む企業も一部にはあるが、「仕入単価の値上がり」(鉄鋼、建築資材)を気にする声が多い。D I値自体は、年度始めということもあり、動きが鈍く、前回調査より悪化している。

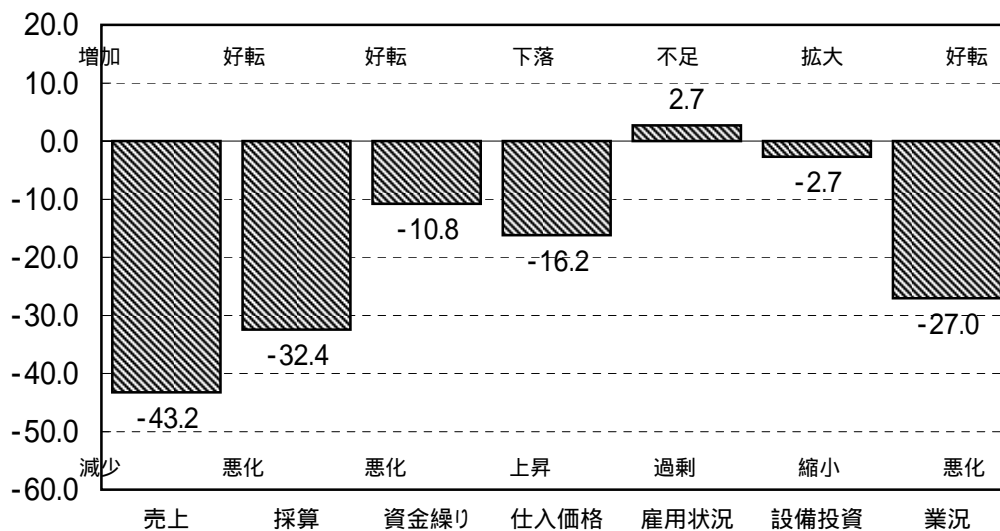
(4) 小売業

前期比(平成15年10～12月比)



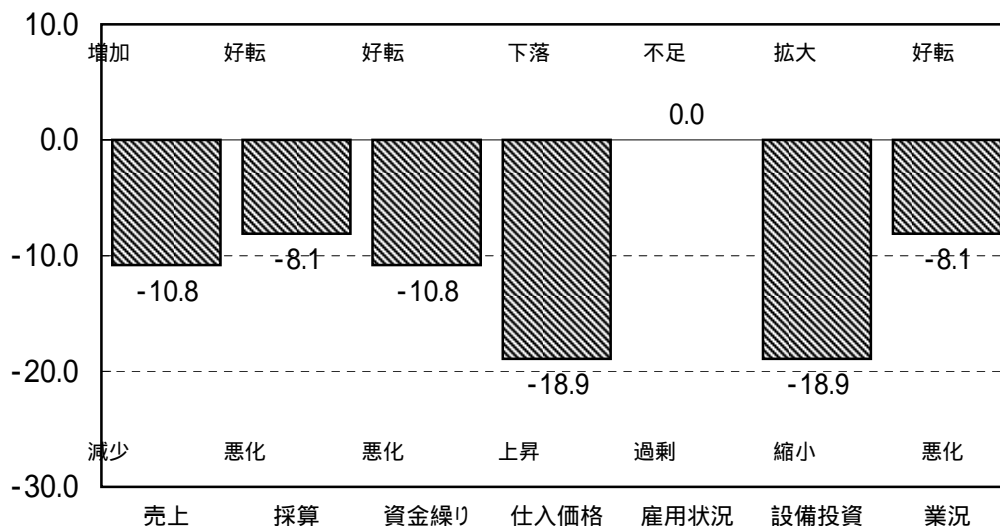
「例年この時期売上増」(PCソフト)、「冬場は売上増」(プロパンガス)、「新型車発売」(自動車販売)等の声が一部で聞かれるが、個人消費の低迷・競争激化は変わらない状況で、DI値は前回調査より悪化している。

前年同期比(平成15年1～3月比)



売上・業況とも前回数値より回復したかにみえるが、その水準は他業種に比べ未だ低い(マイナス)。競争激化、需要低迷による売上不振は続いているため、一部では総額表示方式の準備による混乱も聞かれた。

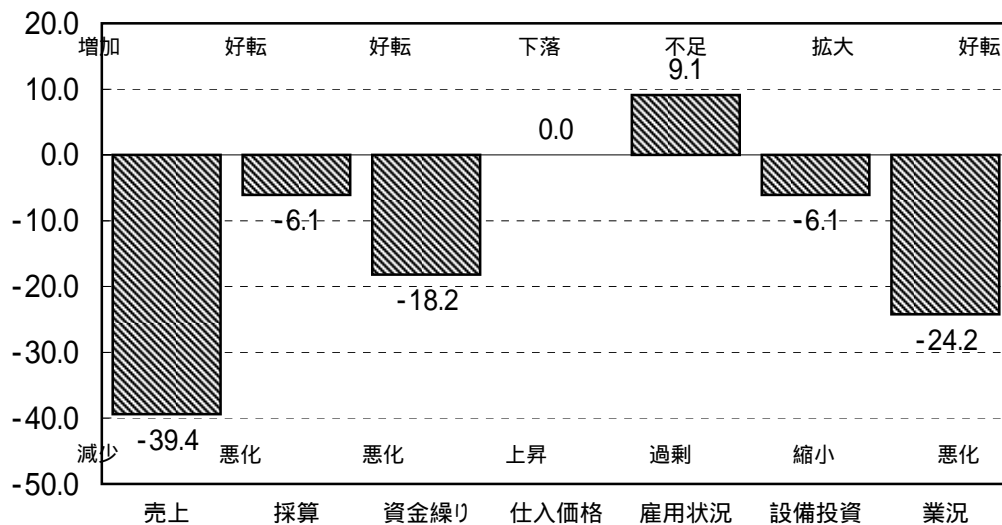
来期見通し(平成16年4～6月見通し)



「地方景気の低迷」(衣料品・食料品)、「季節的要因」(ソフトウェア)等マイナス要因もあるが、「徐々にではあるが、客数の増加がみられる」(総合小売)ほか、新年度に向けての期待か、前回調査より改善をみせた。

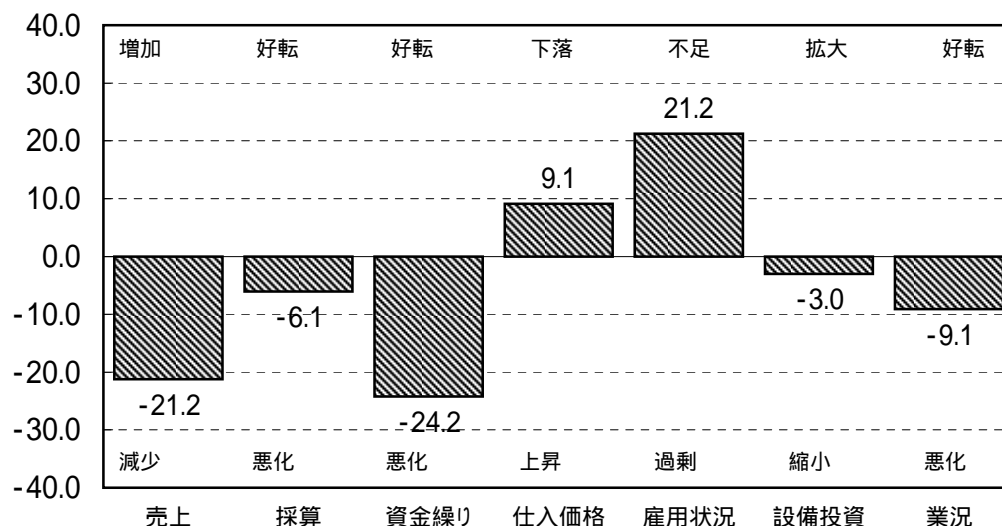
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成15年10～12月比)



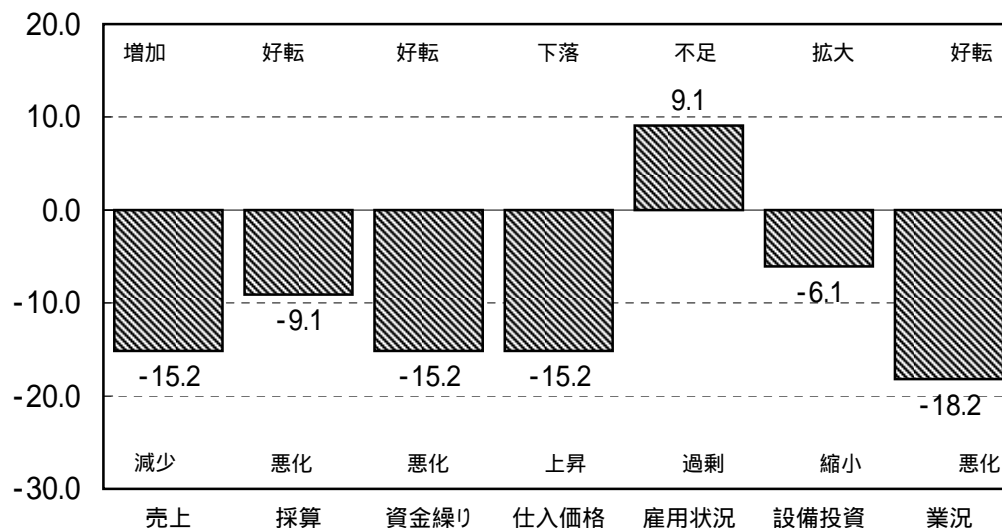
「東京・大阪の業況好転だが、地元宮崎はまだ」(広告代理店)、「レジャー客は県内がとも今一步、ビジネス客は県外客に活気」(レンタカー)と一進一退。忘年会等年末需要の一巡で売上大幅ダウン。

前年同期比(平成15年1～3月比)



「県内企業の広告宣伝は低調」(広告代理店)、「閉店による解約が多かった」(リースキン)等まだまだ景気低迷を脱しきれていないが、県外の好転の恩恵を受けている企業もあり、前回調査より心持ち改善した。

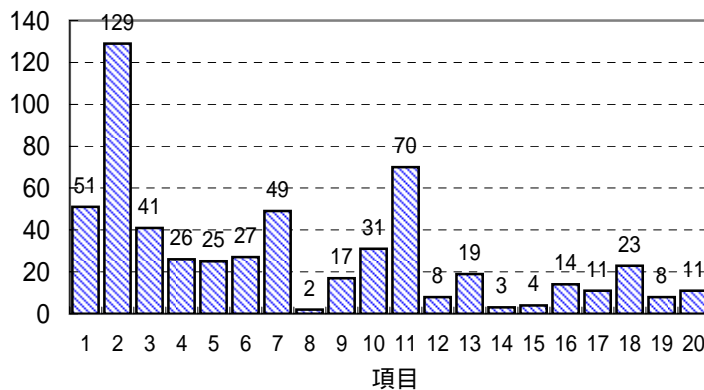
来期見通し(平成16年4～6月見通し)



「今ひとつ元気がない」(旅館)、「飲食店の状況が悪すぎる」(リースキン)等で本格的な回復を望めないが、「これから繁忙期」、「在庫管理と人員削減で利益増」の動きも。未だマイナスながらも、若干の改善がみられた。

6. 経営上の問題点

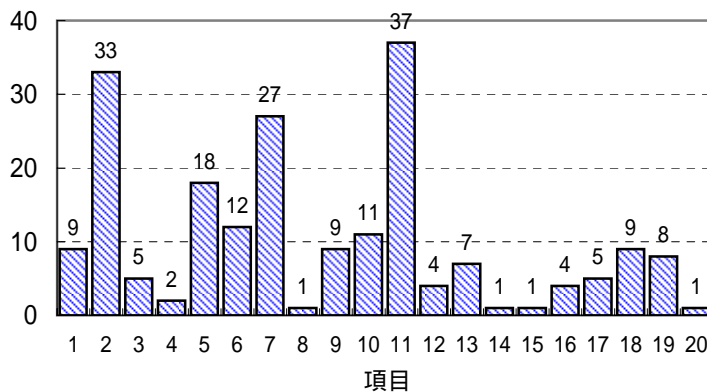
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

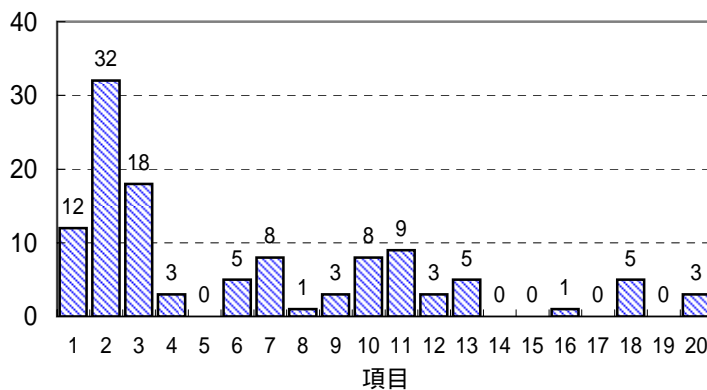
製造業



順位

- 1位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 2位 需要の停滞
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 5位 製品ニーズの変化

建設業



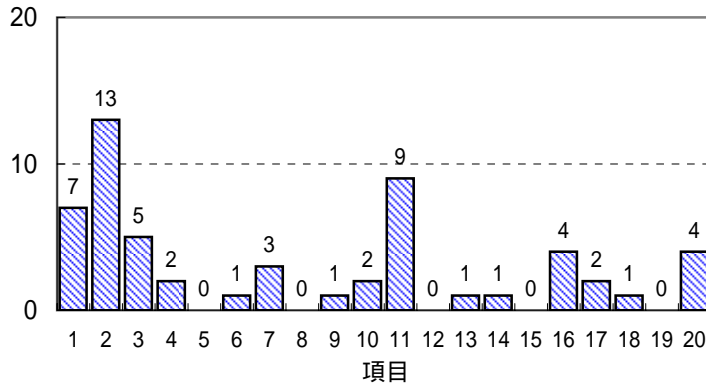
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

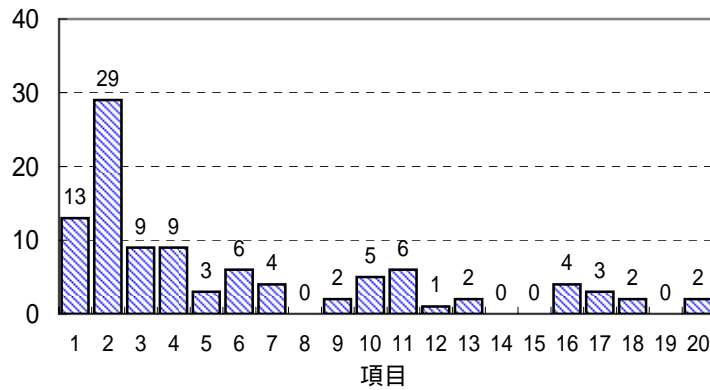
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 事業資金の借入難

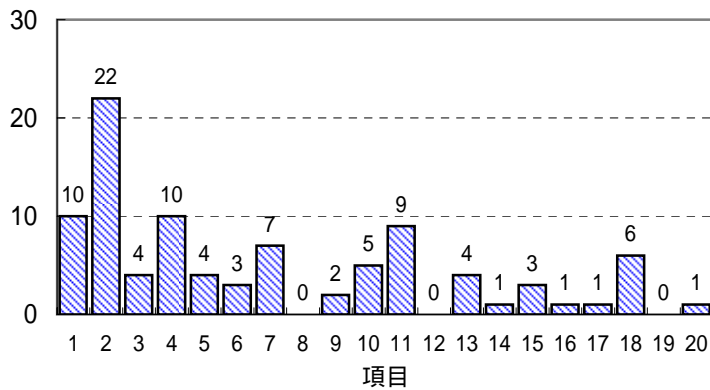
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 製品ニーズの変化

サービス業



順位

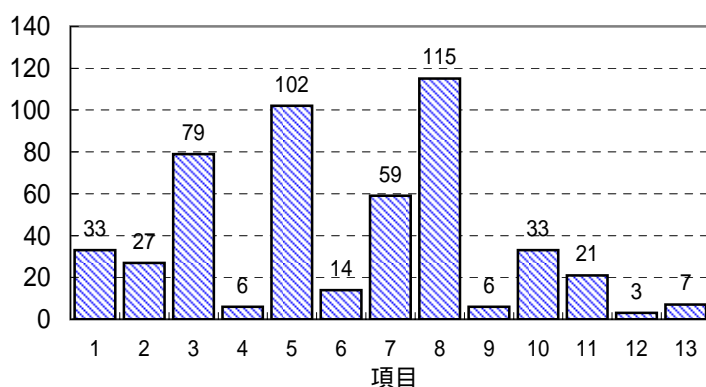
- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 新規参入業者の増加
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

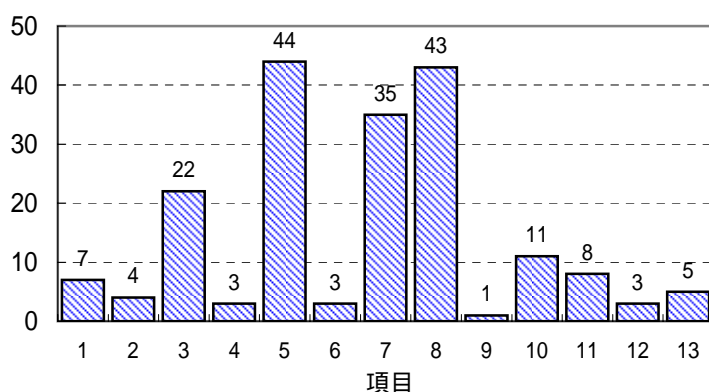
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

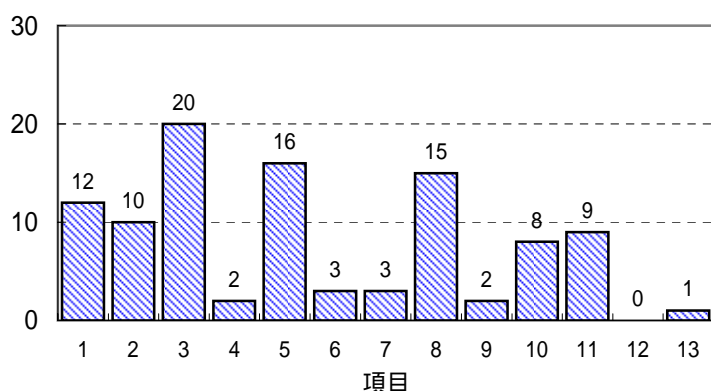
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



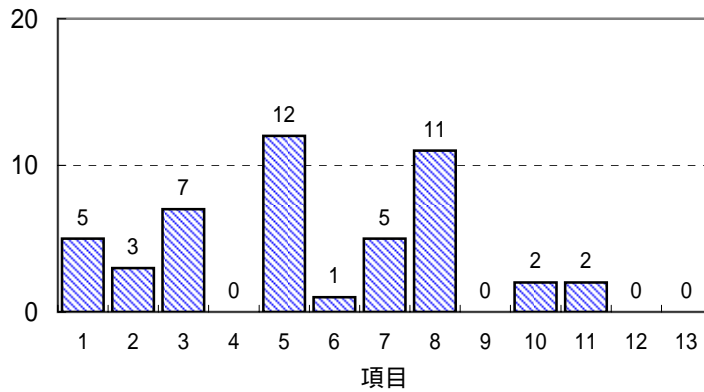
順位

- 1位 人件費を削減したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 雇用調整を行いたい

項目一覧

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい (1を除く) |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい (操業短縮など) |
| 5. その他の合理化を実施したい (製造工程の簡素化など) | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

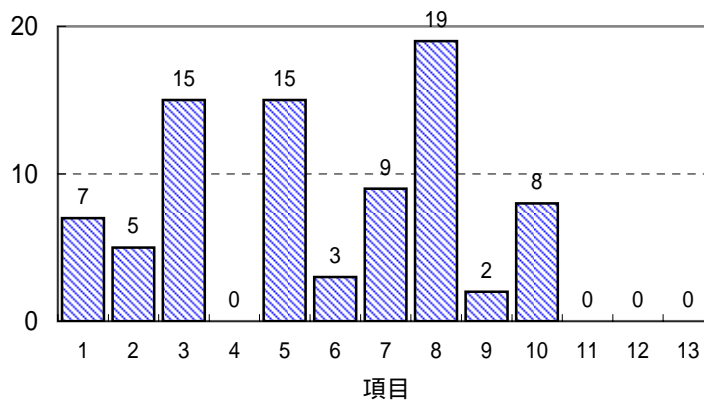
卸売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

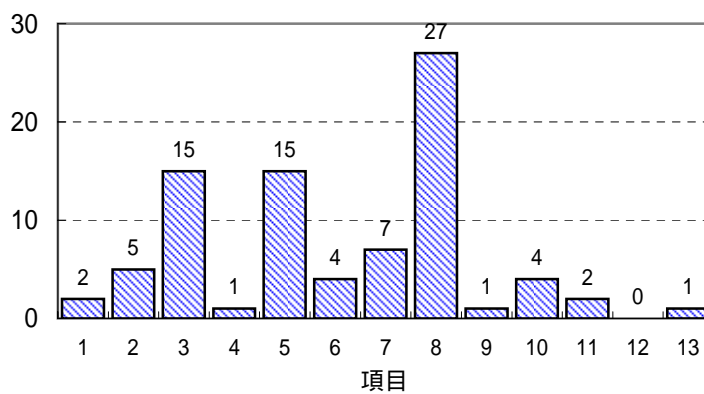
小売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい

項目一覧

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい (1を除く) |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい (操業短縮など) |
| 5. その他の合理化を実施したい (製造工程の簡素化など) | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	製材業	都城	民事再生法の悪法をなくしてもらいたい。平成の徳政令である。
製造業	印刷業合成樹脂製品製	宮崎	アクセス道路(特に県北)の早期着工
製造業	電気機器製造	宮崎	納税の負担が大きい。統計調査が多い。
製造業	金属製品製造業	宮崎	急激な材料費の値上げ苦慮している。鋼材を始め、中国の急成長による品不足を起因とするものであるが、これら事情によって国内の経済活動が停滞することに対して行政面(経済政策)の配慮があつてよい。
製造業	食肉卸製造加工	宮崎	今回の鳥インフルエンザによる風評被害の売上ダウンは思ったより深刻です。発生一部地域だけでなく、全国的な資金対策が必要です。
製造業	酸素等の高圧ガス製造	宮崎	製造業を中心とした雇用増につながる企業誘致
製造業	印刷業	宮崎	官公庁の入札に関し、過当競争による採算割れの低額提示がなされている。適正価格になるような方途を考えて欲しい。
製造業	印刷	延岡	景気回復は大企業だけ...。官公庁の予算の2割削減より人件費をもっと減らしたらどうですか。零細企業への予算2割減って大変だ。
製造業	化学品製造	延岡	中小の化学品生産メーカーには景気回復の実感は程遠い。
製造業	食品工業	日向	物流の円滑な運搬等のために、道路建設を推進してほしい。
製造業	鉄工業	日向	公共工事の地元優先発注への意識が未だ薄く感じられる。(地元企業がどれ位のレベルの仕事まで出来るのかを把握していないのでは?)(鉄工関係の話です。)
製造業	砂糖製造・販売	日向	農産物WTO、FTA交渉の如何が国内生産物との競争の結果及び海外製品の輸入増加で価格下落が懸念され、一方で国内生産物の保護政策により課徴金の徴収の負担でダブルパンチを受ける可能性あり、トータル的に農政の検討を期待したい。
製造業	各種自動機械設計製作	日向	中小企業景気対策が望ましい。
製造業	リレー製造業	日南	受注情報としては増産傾向にあるが、市場価格が厳しい。また品種別の盛衰も激しく、それに応じた人員対応が必要。必要に応じ、一定レベルの人材が確保できる環境が必要。
製造業	製材、集成材	日南	<国に対して>大手住宅メーカーや、公共建築に国産材の利用また指定を増やすべきである。これは、我々業界がやるべきでなく、木材輸入を無差別に輸入させた国に責任があり、国が実行すべきである。国産材、自給率50%に上げる必要があり、それにはどうすれば、そうなるか国が考えるべきである。
製造業	金属加工業	日南	製造業にとっては多少の動きが出てきたみたい。ただ前進あるのみとはなかなかいかない。将来の動きの予測がはっきりとしないため。
製造業	漬物製造業	小林	地産品(県内・国内)の県、国のPRの報道をもっと多くして国内産消費への拡大をお願いします。(国内の安全農作物)
製造業	各種印刷	小林	大企業優先、市町村合併などにより地方の小規模の事業所や地方の文化が消えつつある。身動きの堅い親鳥だけが多くなり、これまでのあらゆる技術を生み出してきた小さな企業、地方、すなわち卵が無くなって行く現状に疑問を感じます。
製造業	焼酎製造販売	串間	原料(芋)の不足、蒸留廃液処理の件でメーカーサイドの支援協力を願いたい。
建設業	建設業	都城	公共工事受注が厳しい状況にある。競争の激化により受注できる金額も非常に厳しい。
建設業	管・水道施設工事業	都城	我々配管技術者の設計労務単価が年々下がる一方であるが、その反面では、資格の取得等会社や個人の経費の負担が膨らむ一方である。単価の見直し等を行い、優秀な社員が定着するよう考えて頂きたい。

建設業	建築工事業	宮崎	建設業を取り巻く環境は年々悪化の傾向にあり、建設投資の大幅な減少は労務単価の値下がり、収益性の低下など危機的状況に置かれています。誠心誠意努力しても、企業存続さえ予断を許されない状況にあります。国および県等におかれて原価の窮状を賢察いただき補正予算と合わせての年度を通じた切れ目のない適切な対応をお願いしたい。
建設業	電気工事	宮崎	発注は県内企業最優先でお願いします。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	新知事が行政機構の大改革を実行した。無駄をなくし、効率的な組織は大いに賛成です。これからの県民の生活、景気の回復に大いに手腕を振ってもらおうよう期待致します。
建設業	電気設備工事	宮崎	法人税、事業税等の租税の軽減、社会保険料、労働保険料等企業負担の軽減、中でも社会保険料の負担増は、企業における総額人件費を急速に増大させ、収益が悪化している
建設業	土木建築工事請負	宮崎	公共投資削減の問題と民間需要の停滞により、建設業にとっては非常に厳しい経営環境が続いており、倒産企業も後を断たず、行政の何らかの配慮をお願いしたい。
建設業	建設業	延岡	とにかく公共工事の予算の増加を望む。国、県、市町村等。
建設業	建設業	日向	県公共工事の発注格差(地域差)がない様に計画してもらいたい。(県央地域に集中している)
建設業	造園工事・生産販売	日向	造園工事業のため公共工事の減少となる。但し、生活環境の改善で緑と花で生活環境の改善は必要と考える。行政は公共工事の配分を十分考えて頂きたい。
建設業	建設業	日向	公共事業削減により景気がよくなりませんし、税収ものびないので悪循環である。
建設業	建設業	日向	県発注(市)の物件減少にて指名がない。県や市は指名業者の物件の内容に適正な業者(例、国県が定める資格、免許取得)であるか、調査確認をしているか不明である。指名や発注が一部の業者へ集中しない様な指名が望ましい。
建設業	建築塗装	日向	・民間企業に設備投資できる力を！・行政の景気対策は税金投入になるが、中小企業が活力を持てば景気は良くなる。中小企業を大切に。
卸売業	鉄鋼卸売業	宮崎	中国特需、恩恵(神風)を受けているのは大企業のみである。特に建設関連の中小企業の景気は悪化するのみ
卸売業	家庭用品日用品卸売業	宮崎	目に見る形での景気回復の実感は全くありません。逆に、悪化しているのではと思える位です。企業間格差、地域間格差がさらに大きくなっているのでは。
卸売業	包装材文具日用品卸	宮崎	大都市、新聞等では、景気の好況が伝えられるが、県内では変化なし。
卸売業	食品卸売	日向	自由経済社会の民間企業として、国に施策を求めることはありません。
卸売業	建設資材卸	日南	日南など県南地方においては公共工事への依存度が高く、現在の施策では景気対策として逆行しているようです。特に国に対して地方への対策を重点的に実施していただきたい。
小売業	全酒類卸小売	宮崎	折からの芋焼酎ブームで全芋焼酎が不足となり、困っています。農業振興の意味からも、転作など農協へ依頼したい。景気については、良くなったという確かな実感はないけれど、これまでのように暗いものはなくなって、明るさを予感させる位は感じられる。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	企業の格差が目立ちます。先ほども自己破産企業のニュースが流れていました。ゴールデンウィークを控え心うきうきしていて、気持ちの良い日差しを受けている時の突然のニュース。明るい話題提供を心がけたいと思います。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	カメラ業界は、今デジタル化の波を受けている。アナログ(フィルム写真)やデジカメの需要の変化、ニーズの変化に対して、企業がどこまで対応できるかが今後の課題。
小売業	自動車販売整備	宮崎	景気閉塞感を更に打破すべく、各種規制を解除し、経済の自由度を大きくし、拡大する必要があります。特区の状況を正しく評価し、特区でなく原則自由にすることが必要と考える。

小売業	米穀・酒類販売	宮崎	希望の持てる対策を今出来る事を掛け声に終わらせずにやっていただきたい。
小売業	各種時計宝飾其他	宮崎	新聞報道によると大企業は景気回復しているとあるが、私共地方の小企業には好転の兆しは未だみられないが、明るいニュースとして歓迎したい。今まで、悪化のニュースばかりであったから。
小売業	呉服・宝石・寝具	宮崎	デフレ不況で需要低迷の消費者マインドが売上不振になっている。イオン問題の解決。
小売業	百貨店総合	宮崎	宮崎経済が活性しているとは感じられない
小売業	ブティック	延岡	内税方式導入による混乱をどうみるか。景気好転とはマスコミは言うものの、年度末による多少の活性があるのみで6月以降をどうみているのか。
小売業	建築木材製品販売	日向	木材の納品時に付属品の販売で利益アップをはかる。公務員及び議員の数を市町村合併の時に最低人数に即削減。参議院の廃止(役に立ってない)天下りの廃止、これで税金は安定、数千億か兆の金が浮くと思う、年金も安定、よけいなものはいらぬ。
小売業	総合食料品スーパー	日向	特にございません。
小売業	みやげ物品販売	日南	景気は良い方向に向いたか？協調と競争を考えない業者が多く全体のレベルアップを考えてない。民間が知恵、工夫、汗を出し官民一体で。
小売業	プロパンガス	日南	小零細業界が活発にならなくては景気回復にはつながらぬ。今、従業員の福利の見直しまで考えざるを得ない。高齢化と人口減が大きなウエイトを示す。
サービス業	貨物運送業	都城	国の行っている施策(高速道路・環境・湾岸地域・交通・労働)の各問題が全てコスト増の原因になっている。やらない訳ではないが、流れが早過ぎて、改善が追いつかない。
サービス業	運送業	都城	軽油価格等の安定化と高速道路使用料の値下げをお願いします。景気回復に依る消費需要の拡大を早めて頂きたい。末端企業は不景気からなかなか抜けきれない。
サービス業	広告代理業	宮崎	雇用対策を積極的に推進していただきたい
サービス業	旅館業	宮崎	他県が色々なイベントや祝賀ムードで賑わいを見せているのに、本県では野球、サッカーのキャンプが終わったとたんには何も無いありさまで、スポーツ関係の誘致活動に本腰を入れて取り組んでいただきたい。設備を作っただけでは「仏つくって魂入れず」のことわざ通りになってしまいます。
サービス業	総合不動産業	宮崎	固定資産税を土地の下落に合わせて下げてもらいたい。
サービス業	旅館業	延岡	日本は細かな法律にうるさくて、現在まで問題なく順調に経営が行われているにもかかわらず現場を無視した勝手な法律改正により、店をつぶす勢いで財政面を圧迫して瀬戸際に立たされている。もっと零細企業を守る手段を講じてほしい。
サービス業	クリーニング業	延岡	株価の上昇など若干ではあるが、明るい見通しもあるようだがまだまだ延岡ではきびしいのが現実だと感じます。やはり実際の消費が活発にならないと私たちのようなサービス業までは浸透してこないだろう。県全体を見て県北地域へもっと公共投資をしてもらい、活気ある県北地域を望みます。
サービス業	飲食業	日向	今は社会保険、厚生年金の会社負担が大きく、国は今度又、パートの短い人まで加入させようとしていますが、これでは会社経営は成り立たないと思います。絶対反対です。
サービス業	サービス業	日向	1. 急激な規制緩和や改革は、中小零細企業の倒産と失業者の増加を招き、地方経済の立ち直りに悪影響をもたらすことになる。2. 国際競争力をつける諸施策が国内経済の混迷を深めているのではないかと。
サービス業	清掃用品レンタル業	高鍋	国、県等の出先、農業大学校(ルピナス)等は町内業者をりようしてほしい(安ければ良いと言う考えはしないでほしい。品質も考えて)

サービス業 レストラン	高鍋 大手食品関係のモラルの低下は目をおおうばかりで、あきれはてる。この4～5年毎年の様に戻されていて、政府はもとより関係省庁でも何の手段も行われていない。景気対策は行政と民間で、同時に行わなくては効果はうすい。民間中小のやる気をそいでいるのは、大手政府ではないでしょうか。悪い者がのさばっている日本に未来は暗い。
サービス業 ホテル	日南 観光地の整備及びPR。南国宮崎をアピールしたイベントの開催、観光客の誘致。グラウンド等のスポーツ施設をPRし、キャンプ、合宿等の誘致活動に努めていただきたい。そのためにも各競技の施設を充実してもらいたい。
サービス業 タクシー業	小林 規制緩和で地元(地方の)企業は混乱し、景気を悪化させ何も生んでいない。政治的な判断ミスにより地方経済は回復の見通しが立たない。